

ひたちなか市 自治会連合会だより

第65号

発行日/2019年2月25日
発行者/ひたちなか市自治会連合会
広報委員会
(事務局:ひたちなか市市民活動課)
TEL.273-0111

自治会活動推進ポスター-最優秀賞

田彦小学校 6年 ほりうち しゅう や
堀内 秀矢

地域づくりの担い手となる自治会や地域活動への理解と参加を推進することを目的に、小学生を対象に夏休みの作品募集のなかで、自治会活動推進ポスターの応募を呼びかけました。

地域の夏祭りや運動会、登下校時の見守り活動、防災訓練などを描いた全63作品が集まり、最優秀賞1点、優秀賞15点が選ばれました。最優秀賞は田彦小学校6年 堀内 秀矢さんの作品に決定され、今後の自治会活動の呼びかけに活用されます。

(次ページに優秀作品を紹介)



リーダー研修会 11月23日(金) ワークプラザ勝田

昨年度の市自治会連合会情報交換会でテーマとなった「将来に向けた自治会運営のあり方」において、多くの意見があった高齢者の見守り、買い物弱者や通院等の交通手段の確保をテーマとしたリーダー研修会が開催されました。

第1部では、日立市塙山学区すみよいまちをつくる会 西村ミチ江会長を講師に迎え、塙山学区における高齢者対策などの取組みについて講演をいただきました。

塙山学区においても、少子高齢社会の進行に伴い、高齢者世帯の増加、加入世帯の減少、役員のみなり手が少ないなどの課題を抱えています。そのため、高齢者世帯の支援やそれらを担う人材発掘、住民同士のコミュニケーションを図るための事業を積極的に展開しているとのことでした。それらの基本的な方針は、「住民のニーズを大切に、皆で討論する」「身近な問題に目を向ける」「子どもと一緒に活動する」「受益者負担を基本とする」などでした。締めくくりの中で、「時代とともにまちづくり活動は変化し、終わりのない旅のようなもの」ということばが印象的でした。

第2部では、根本会長(平磯清水町自治会)及び成瀬会長(平磯自治会)から、高齢者などが通院・買い物に利用できるスマイルあおぞらバス「平磯・那珂湊市街地コース」の運行に至るまでの経過と開始からの利用状況や利用者の声が紹介されました。

※「平磯・那珂湊市街地コース」は9人乗りワゴンバスが市街地を小回りに循環し、1回100円で乗車できる定時定路線です。平成30年10月14日から1日7便の運行が開始されました。



ター優秀賞

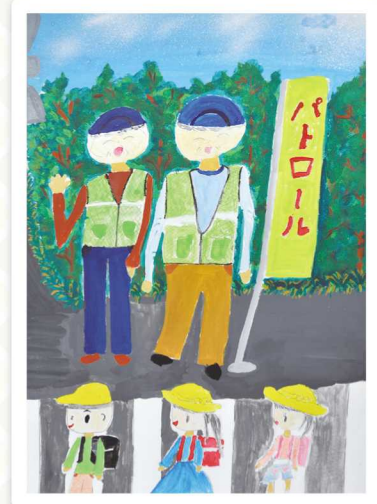
「子どもたちにも思い出が光る自治会活動」



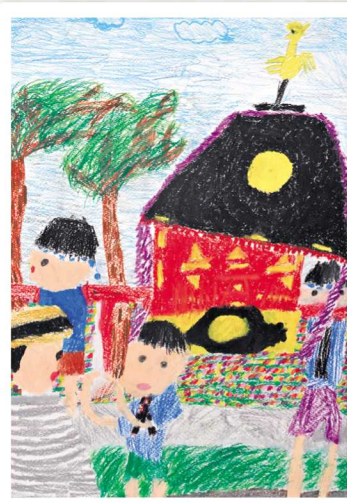
東石川小学校 3年
みねし かなみ
峯岸 奏実



枝川小学校 2年
かわまた ほか
川又 洸



三反田小学校 4年
きだ みらい
木田 未来



前渡小学校 2年
さくま ゆな
佐久間 結菜



市毛小学校 5年
うみの あいな
海野 愛菜



東石川小学校 6年
かげやま かずき
景山 和樹



長堀小学校 5年
しきょう てるとし
執行 輝俊



堀口小学校 2年
かわさき にいま
川崎 新真



佐野小学校 6年
さとう そら
佐藤 奏来

地域の絆・地域の力

安心・安全な地域づくりやお祭りなどの地域コミュニティ活動は、子どもたちの楽しい思い出の1コマとして刻まれています。

自治会活動推進ポス



那珂湊第二小学校 1年
こんにこあ
今 虹光安



那珂湊第一小学校 4年
ごとう しんのすけ
後藤 伸之介



外野小学校 4年
ながまつ ゆい
永松 優衣



平磯小学校 6年
いそぎ ひかり
磯崎 陽加里



那珂湊第三小学校 6年
たかはし こうすけ
高橋 昂佑



那珂湊第三小学校 6年
かめやま かずき
亀山 和生

自治会活動推進ポスター=表彰式

11月4日(日)、市産業交流フェアに併せて、自治会活動推進ポスター最優秀・優秀賞受賞者の表彰式が行われ、市自治会連合会会長から賞状と記念品が手渡されました。

また同イベントの市総合体育館内では応募作品の展示ブースが設けられ、多くの来場者が力作ぞろいのポスターを鑑賞しました。



平磯自治会 学童パトロール隊



パトロール隊活動の様子

平磯自治会学童パトロール隊は、通学路が狭いので交通事故から子どもたちを守るため、平成18年に発足しました。発足当初は子どもたちのおじいさんやおばあさんが孫たちのためにと自主的に参加していました。現在は自治会の班長、民生委員で編成しています。学校と連絡を取り合って毎月の行事予定を送ってもらい、子どもたちの下校時に合わせて月曜日から金曜日まで、午後2時30分に集合し、午後3時20分頃まで行っております。通学路を3コースに編成して、子どもたちに声を掛けて安全に下校できるように見守っています。

子どもたちの元気な挨拶や笑顔に、逆に元気をもらう事もあります。毎日約10名強の方が自主的に参加され、学校の登校日年180日になると、延べ人数年1,800名の方が参加しています。

これからも少しでも地域に役に立つ自治会にしていきたいと思っています。

平磯自治会学童パトロール隊 文部科学大臣表彰

地域の子どもの安全・安心を守る活動に尽力している「平磯自治会学童パトロール隊」が、平成30年度文部科学大臣表彰「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞し、11月16日(金)、本間源基前市長を表敬訪問しました。

同パトロール隊は、各地区の班長や民生委員が集まり平成18年に結成。12年にわたって、毎日欠かさず学校周辺や海岸沿いなどで下校時の見守りなどを行い、現在も活動を続けています。

代表を務める成瀬福次氏(平磯自治会長)は「受賞を励みとして、今後も学校と連携しながらパトロールを続けたい」と意気込みを話していました。



平磯自治会学童パトロール隊のみなさんと平磯小 大内良彦校長(写真左奥)

回覧板が必要な方は、
市民活動課まで
お越しください!



伊達市御代田自治会視察研修受け入れについて

9月27日(木)
大島コミュニティセンター

福島県伊達市御代田地区は、東日本大震災で被害を受けたことから、自治会における防災対策の見聞を広めるため、関根信富会長ほか28名で本市に来訪され高場南自治会が視察受け入れを行いました。

高場南自治会では、東日本大震災での経験を活かした独自の防災マップの作成や、役割分担を明確にするための事前訓練、広報車両を利用した情報発信に取り組んでいます。

当日は古川会長及び副会長2名が、同自治会の防災訓練や災害発生時の地域住民への周知方法について説明しました。

今回の研修では被災を経験した自治会同士が情報共有を図ることで、自然災害に備えた地元自治会での取り組みが一人一人の命を救う大きな支えになると再認識しました。





未来につながる地域の産業をテーマとして開催された秋の一大イベントである産業祭は、天候に恵まれ大勢の家族連れで賑わいました。会場は体験・味自慢など9つのエリアに分かれ、それぞれが特色を生かして盛況でした。

市自治会連合会は「交通安全フェスティバル」に高齢者クラブや交通安全母の会などの団体と共に参加しました。午前部の部と午後部の部に分かれて各エリアを回り、来場者に交通安全の声掛けをしながら、併せて自治会加入の啓発品も配布しました。



総合防災訓練の意見交換会

10月25日(日)ワークプラザ勝田

9月1日(日)に実施された総合防災訓練の意見交換会が行われました。

主な内容は、大平自主防災会の「煙体験訓練とレトルトカレーによる炊き出し訓練」、勝田駅前自主防災会の「東石川小学校にての合同防災訓練」、そして津田第三自主防災会の「“タオル掛け作戦”による安否確認訓練」等の活動発表でした。地域住民への理解と参加協力が問われ、質問が集中する中、周辺の防災会と協力しながら組織力の強化に繋げた事例は印象的でした。

休憩後、七丁目自主防災会より「学校と地域の合同訓練」の内容紹介があり、自助・共助を基本とした“自分の身は自分で守る”、“自分達の街は自分達で守る”ことが如何に大事であるか、ビデオをもって確認しました。

活動が停滞しないようリーダーの育成に心掛け、災害に備えたいと思います。



消防出初式に参加

1月13日(日)新光町多目的広場

平成31年の新年にあたり、穏やかな日中のなか平成最後の市消防出初式が盛大に執り行われ、消防関係者1,120名、消防車両44台が出動しました。式典の部は国旗掲揚、消防殉職者慰霊黙禱に始まり、大谷明新市長の挨拶、消防活動の功績を讃えた永年勤続表彰や優良消防団員の表彰がありました。

パレードでは坂井隊長代理を先頭に83の自主防災会の徒歩隊が整然と行進し、たかば保育園、清心保育園の園児によるダンス、笹野消防署による消防演技および消防車による放水演技が披露され、大勢の家族連れの観客からは大きな拍手と歓声が起こりました。



自治会トピックス

枝川ふれあいまつり

枝川自治会

12月2日(日)、「第35回枝川ふれあいまつり」を、枝川転作センターで開催しました。

野菜販売、手打ちそばなどの模擬店や地域の芸術家の作品展示もあって、大好評でした。また、小学生の吹奏楽や地域の皆さんの踊りも披露され、祭りに華を添えていただきました。多世代の交流が図られ、地域が一丸となり、絆が深められた有意義で楽しい一日でした。

いつ起きてもおかしくない災害に、頼りになるのが身近な住民同士のつながりです。



原子力施設見学会

足崎団地

11月22日(木)原子力施設見学を実施しました。東海地区を中心に、県内には原子力関係の施設が18ヶ所あり、今回、東海村の原子力科学館、原電、原研の各事業所を見学しました。東海第2原子力発電は、福島第1原発事故以来運転を停止しており、新たに、20年の運転期間延長を原子力規制委員会に申請し認可を受けました。私たちの住む地区は、同施設より10km圏内に位置し、再稼動したときの住民に対する安心・安全対策をどのように進めていくのか、参加された方々より熱心な質問が出されるなど、予定時間が超過するほどでした。我々身近に住む者にとって原子力とは、原子力事業とはどのような事なのか、もう一度見つめ直す良い機会となった見学会でした。



大島地区小規模自治会における活動一体化の伸展

共栄町自治会

勝田駅東口周辺の4自治会は全て加入世帯数が100戸前後で、いわゆる少子高齢化の典型的な自治会です。その為、自治会役員を選出のみならず、コミュニティセンターへの実行委員派遣にも苦勞している状況です。このままでは今後の自治会活動が出来なくなるのでは?と危惧されています。そこで手始めに、2018年の防災訓練では4自治会が合同で実施した方が参加者も多くなるのではと考え、東石川小学校の校庭・体育館の利用を申し込みました。学校当局及び市役所・自衛隊・消防第1分団の全面的な同意と協力により成功裡に実施することが出来ました。更に、2019年度からは大島地区地域づくりの会実践部委員の派遣については、4自治会合同で選出することとなりました。



防災訓練を年2回実施

田彦東

田彦自治会では訓練項目が沢山あるため、2回に分けて行っています。1回目は、消防本部の協力のもと田彦消防署を会場に、屋内で全員が揃ってできる訓練を実施しています。防災協会と消防団第3分団の指導による講話や応急処置、消火、地震・煙体験と炊出しなどです。2回目は市総合防災訓練による屋外での訓練。避難所までの避難訓練の中で、安否と避難経路の確認や倉庫からの搬出運搬訓練等を行っています。繰返し2回の訓練を実施していくことで、全世帯に防災の意識を浸透させていきたいです。

編集
後記

猛暑だった夏が過ぎて、各自治会とも、敬老会、運動会、コミセン祭りと行事も無事行われました。また、11月には新しい市長が誕生しています。新年を迎えて恒例の出初式を終えると自治会の次年度への準備が始まります。地域ではますます進む高齢化や加入会員数の減少、空き家の増加など課題が出てきています。今後もこれらの解決のために会員同士の協力と連携を深める事業の推進を図っていきたく思います。

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/5/index.html>